（様式３－２） 調査研究活動記録票（先進地視察又は現地調査に要する経費）

嬉野市議会議員　　芦塚　典子

実施月日	平成31年1月16日（水）
実施時間	９:30～14:30
調査先	公益社団法人　川越市シルバー人材センター
調査所在	埼玉県川越市石原町２－３－13
調査の目的	川越伝建地区観光まちづくり
調査先担当者	佐久間正二
内容・結果等	川越は、武蔵野台地の東北端にあり、入間川が流れ、自然環境に恵まれたところで、現在の町割りは、江戸城を築いた太田道真・道潅父子が上杉氏の居城として、長禄元年（1457）に川越城を築いたころといわれている。松平信綱は、寛永15年（1638大火）の翌年に城主となり、復興に当たり「町割り」を行っている。明治26年の川越大火を契機として、防火建築である土蔵造りを主に建設され、町のシンボルである「時の鐘」、対象・昭和期には、洋風町屋や銀行など近代建築も調和した伝建地区を形成している。7．8ha　133件。 平成10年に川越伝統的建造物群保存地区に選定されている。選定以前に、観光市街地形成事業を開始し、歴みち事業、菓子屋横丁通り、選定後特殊防災事業を開始して、歴みち事業である鐘つき通りや寺町通りなど道路整備を行っている。平成21年に、伝建地区住民協議会として「川越町並み委員会」を再発足している。 川越市観光に貢献している、川越市シルバー人材センターは、屋内外清掃作業や駐車場整理事業や受付業務、チラシ配布業務等様々な業務があるが、特に観光ボランティアの業務は、好評で約50名が活動している。ガイド料金は、細かく決められており、1時間（1800円）～5時間（5800円）10名まで、11名～20名まで（2800円～6800円）コース　1時間、2時間、3時間、2～3時間、4時間で、約20コースから選べる名所ガイドのほかに、2～3時間のお好みコースがあり、（七福神めぐり、伝説・妖怪ツアー、願い事めぐりツアー、桜と菜の花めぐり、西洋館めぐり、舟運めぐり）がある。観光ガイドは、赤い制服で、毎週研修がある。外に出て来訪者と会うので元気になる。 マトメ　川越市の昨年度の観光客数は734万人で、その観光案内と観光施策において、この法人の役割は大きい。観光における高齢者の活用は、川越市の観光に魅力的な観光政策を展開している。また、接遇研修会、おもてなし研修会、救命研修会等の講習会を開催し、歴史・観光案内については毎週勉強会を開催され、観光に対する努力が伺える。

上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	旅費		21,940
	宿泊費		7,200
	ガイド料		3,800
	合計		32,940

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること